

# 2018年度 第1回みどりーむ「防災・減災講座」レポート

テーマ： 家具の転倒防止で、わが身を守る  
～震災から生き延びるノウハウを学ぼう～



司会：樋口誠氏



開催： 2018年10月28日(日)  
13:30～16:00  
場所： みどりーむ オープンスペース  
主催： みどりーむ自主事業部会  
防災・減災講座実行委員会  
緑区役所 地域振興課  
協力： まちづくりネットワーク緑

講師：戸塚区ハウスマンテナンス

防災クラブ

- 渡邊秀夫代表
- 庄子健司防災士
- 庄子さち子防災士



地域振興課  
伊藤係長挨拶



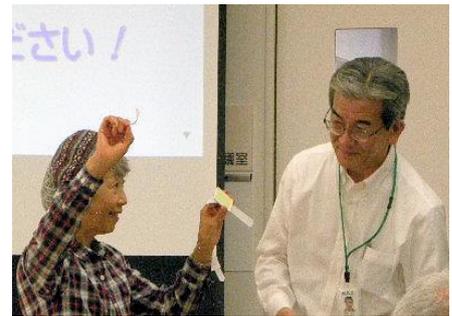
岡部自主事業部会  
長挨拶



第2部として、皆さんに論議してもらい、代表に発表してもらい、共通認識しあいました。

### ◆ 事前防災、全員防災の必要性 : 庄子健治氏

- \* 発生する前に備えることで、被害を減らせる(防災・減災)
- \* 防災の主役は 男性→女性(コミュニケーション力)、防災組織  
→全員防災
- \* 消火は出火後 3 分以内、天井にまで火が達したら逃げる  
(一度逃げたら戻らない!)
- \* 備蓄は 1 週間分~10 日分を。ローリングストック(なくなったら買い足す)は、食料品だけでなく、常備薬やゴミ袋も用意する。



### ◆ 女性は防災のスペシャリスト : 庄子さち子氏

- \* 日本は地震の巣の上にある  
→地震は必ず来る。横浜市は 30 年以内に 82%  
(30 年後ではなく、明日かもしれない。)
- \* 地震で怖いのは ①家の倒壊 ②家具の転倒 ③火 ④水
- \* イザという時、人は動けなくなる(こおりつき症候群)  
→動けるように練習を(両手を上げて、持っている物で頭を守る)
- \* 防災の基本は挨拶→「私はここにいます。助けて下さい。」  
につながる。
- \* 女性の挨拶は、「こんにちは +α」  
→αの中に共助につながる個人情報(家族の様子や暮らしぶり等)がある。
- \* 地震で助かるためには、
  - ・<私はできない><誰かがやってくれる><ここは安全>という思い込みを捨てる
  - ・<つながる><備える><想像する>
- \* 防災イマジネーション(今、地震が来たらどうなる?)を磨く。  
→台所に「ペタッ」と座って周りを見渡す  
→飛んでくる(倒れて来る)物はないか? 逃げ場所はどこ?(2 か所以上は確保したい)



### ◆ 「ペタッ!」と貼るだけの家具転倒防止器具の紹介 : 渡邊秀夫氏

- \* 自宅で最も長い時間過ごす寝室のベッドの周辺には、倒れる家具を置かない。
- \* 高さのある奥行の小さい家具は倒れやすい。
- \* “突っ張り棒”や”L 型金具”は使えない場合がある。
- \* そこで「ペタッ!」と貼るだけの家具転倒防止器具  
(バックル・ベルト・粘着面から成る)の登場!  
→軽い家具(重さ 80kg まで)にはガムロック TV  
→重い家具(重さ 150kg まで)にはガムロック MB
- ・この器具の長所(①取り付けが簡単 ②衝撃力  
(瞬間的な引っ張り)に強い ③ベルトを引き抜けば、  
壁面側と家具側の器具を付けたまま、家具を移動できる)
- ・この器具の短所(①値段が高い ②じわじわと時間をかけて加わる力には弱い ③凹凸のある壁面には使えない(壁に布のガムテープを貼って 1 日経っても剥がれたり、めくれていると、ガムテープを剥がしてから使える))
- \* 家具の転倒防止器具は、逃げるための時間を稼ぐものであって、万能ではない。

